

第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第4学年2組

指導者 竹田 優花

- 1 主題名 家族の助け合い〔内容項目〕C 家族愛、家庭生活の充実
 教材名 お母さんのせいきゅう書（出典：東京書籍 新しい道徳④）

2 本時について

(1) ねらい

家族の一員として、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

| | 主な発問（発問○ 中心発問◎） 予想される児童の反応（C） | ・指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法） |
|----|--|--|
| 導入 | 1 家族について考える。 ○みなさんにとって、家族とはどんな存在ですか。（尊） C安心できる存在。 C自分のことを大切にしてくれる存在。 Cなんでも話すことができる存在。 | ・家族への思いを引き出し、家族との生活で大切なことは何か投げかけて題材の内容に思考をつなげる。 |
| 展開 | 2 「お母さんのせいきゅう書」を読んで話し合う。 ○たかしはどんなことを考えて請求書を出したのでしょうか。 Cお小遣いもらえるかな。 Cいつもお手伝いしているんだからもらえるだろう。 ◎お母さんからの請求書はなぜ0円だったのでしょうか。（表）（言） Cたかしを大切に思っているから。 Cお世話するのは当たり前と思っているから。 Cたかしへの気持ちに気づいてほしかったから。 ○たかしはお母さんの請求書を読んだ後お母さんにどんなことを言ったでしょ | ・家族のことではなく、自分の利益を考えていたことを押さえる。 ・話し合い活動を通して、お母さんの行動の理由を多角的・多面的に考えられるようにする。 ◇家族の無償の愛が互いを支え合っていることについて考えている。（発言・ワークシート） ・「なぜそのように考えたのか」など発言に対して問い返すことでたかしの家族に対する思い |

| | | |
|----|--|--|
| | <p>うか。</p> <p>Cわがままなこととしてごめんなさい。</p> <p>Cいつも色々なことをしてくれてありがとう。</p> <p>Cもっとお手伝い頑張るね。</p> <p>3 家族との生活について自分の考えをもつ。</p> <p>○これからどのように家族と生活していきたいですか。(表)(言)</p> <p>C感謝の気持ちを忘れずに生活していきたい。</p> <p>C自分から進んでお手伝いをしたい。</p> <p>C家族が大切に思ってくれていることを忘れずに生活したい。</p> | <p>の変化を深められるようにする。</p> <p>・題材の内容を踏まえて今後の家族との関わり方を考えられるようにする。</p> |
| 終末 | 4 家族についての教師の話聞く。 | ・家族の大切さを感じた瞬間について自分の経験を話す。 |

(3) 板書計画

